

# 富士通のグローバル知財・ 標準化人材育成の取り組み

2015年9月4日

富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部

知的財産戦略統括部

佐藤 賢治

- 会社概要
- 富士通の知財・標準化の取り組み方針
- 標準化教育が目指す人材
- 企業内教育ニーズ(階層別、事業別)
- 従業員教育  
(e-learning、集合教育、OJT、社外プログラムの利用)
- 戦略審議による経営層の啓発
- 学生教育(インターンシッププログラム)
- スタンドアード活動表彰制度

# 会社概要



本社:  
東京

---

創立:  
1935年

---

代表取締役社長:  
田中 達也

---

事業概要:  
テクノロジーソリューション  
ユビキタスソリューション  
デバイスソリューション

---

従業員:  
15万9千人(全世界)

売上収益:  
4兆7,532億円

---

営業利益:  
1,786億円

---

研究開発費:  
2,027億円  
(売上収益比 4.3%)

---

上場証券取引所:  
東京(コード:6702)、名古屋

---

注: 2014年度決算概要(2015年3月31日終了会計年度)  
従業員数: 2015年3月末現在.

# 当社の主要な製品・サービス



## テクノロジーソリューション

### サービス



各国のデータセンター

### システムプラットフォーム



FUJITSU Supercomputer  
PRIMEHPC FX10



FUJITSU Server  
PRIMERGY



FUJITSU Storage  
ETERNUS

## ユビキタスプロダクトソリューション



FUJITSU PC  
LIFEBOOK

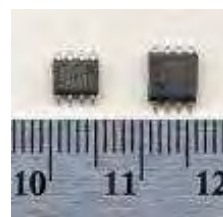


FUJITSU Smartphone  
STYLISTIC

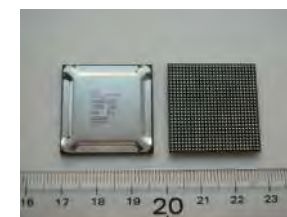


FUJITSU Tablet  
STYLISTIC

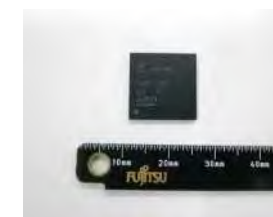
## デバイスソリューション



FRAM  
(不揮発性メモリ)



グラフィック  
ディスプレイコントローラ

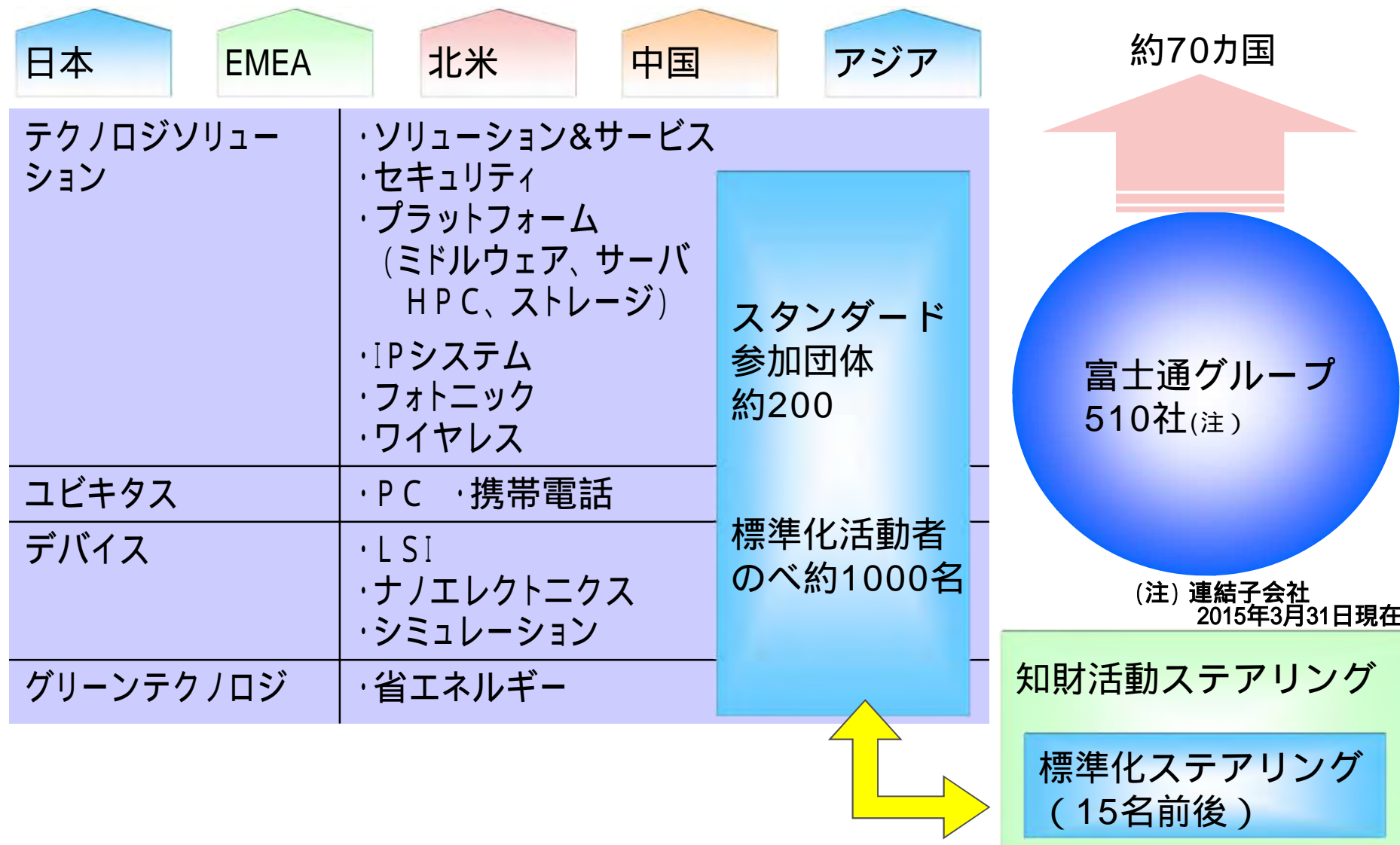


イメージング  
プロセッサ

# 富士通のビジネス領域とスタンダードアクション

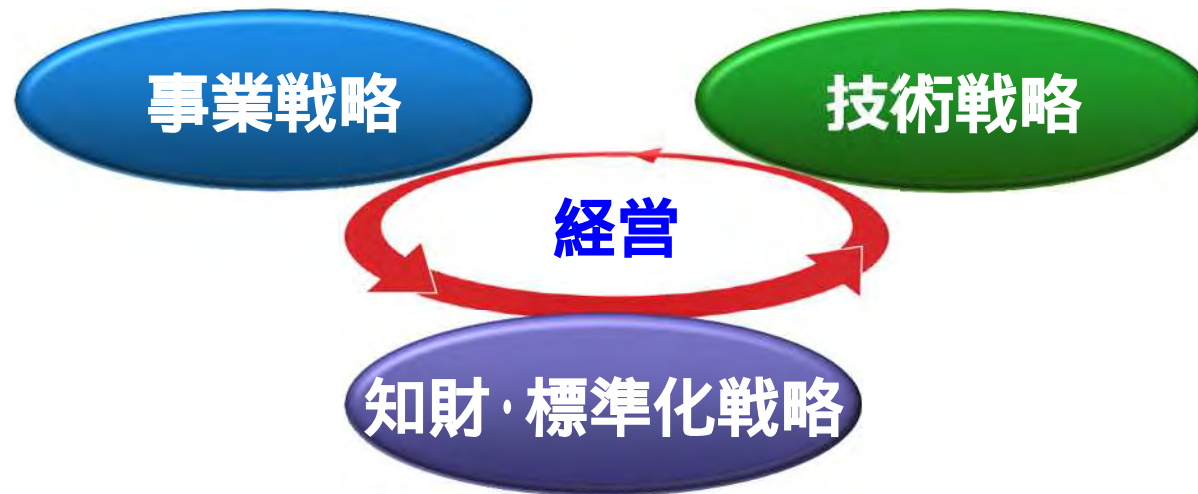


## ■ 広範なビジネス領域&グローバルに対応



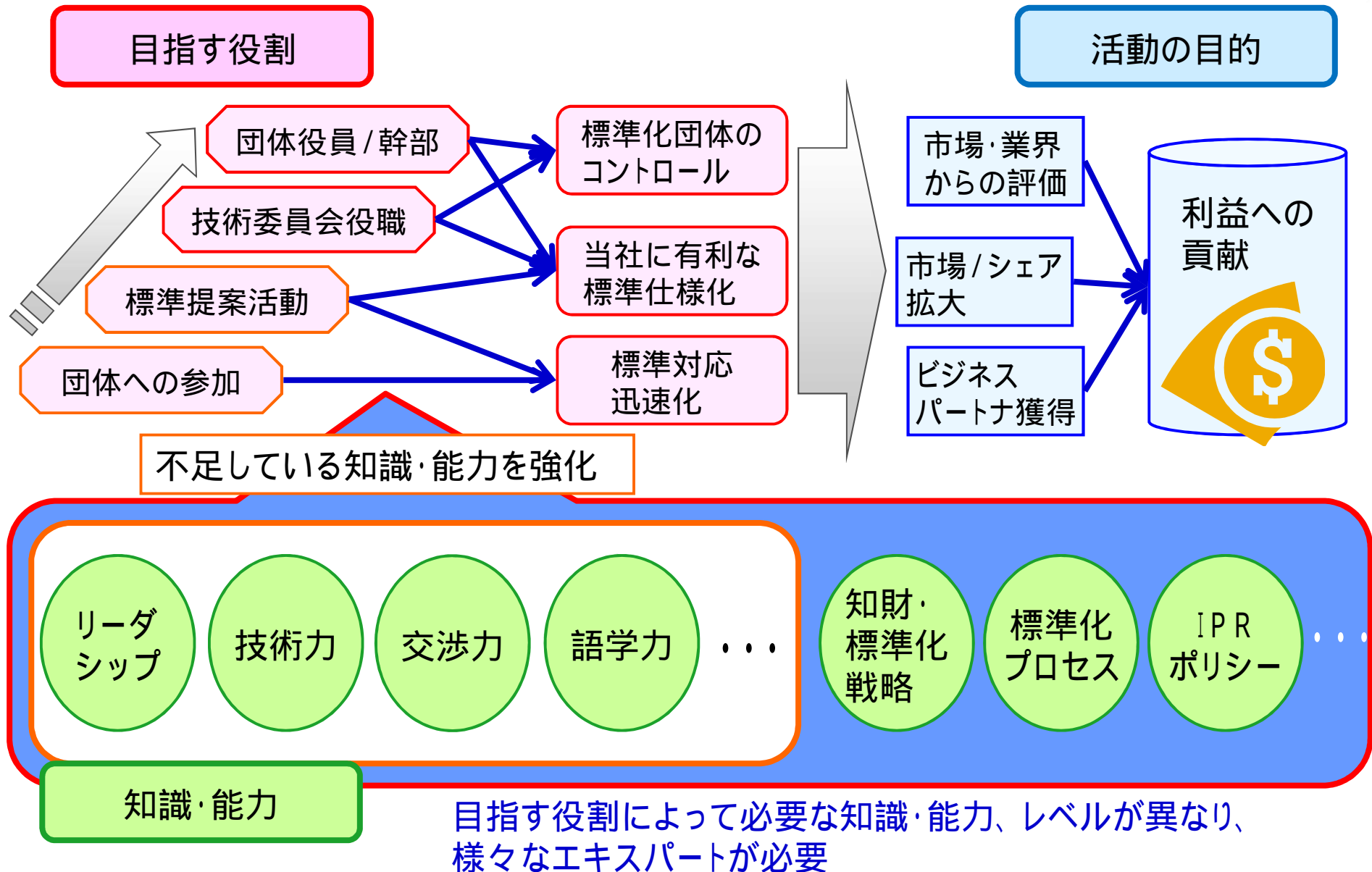
# 知財・標準化戦略の位置付け

知財・標準化戦略は、事業戦略、技術戦略と三位一体で経営を支えるもの



- ・開発初期から知財・スタンダード戦略取り込み
- ・自社技術の強い分野を差別化領域に設定

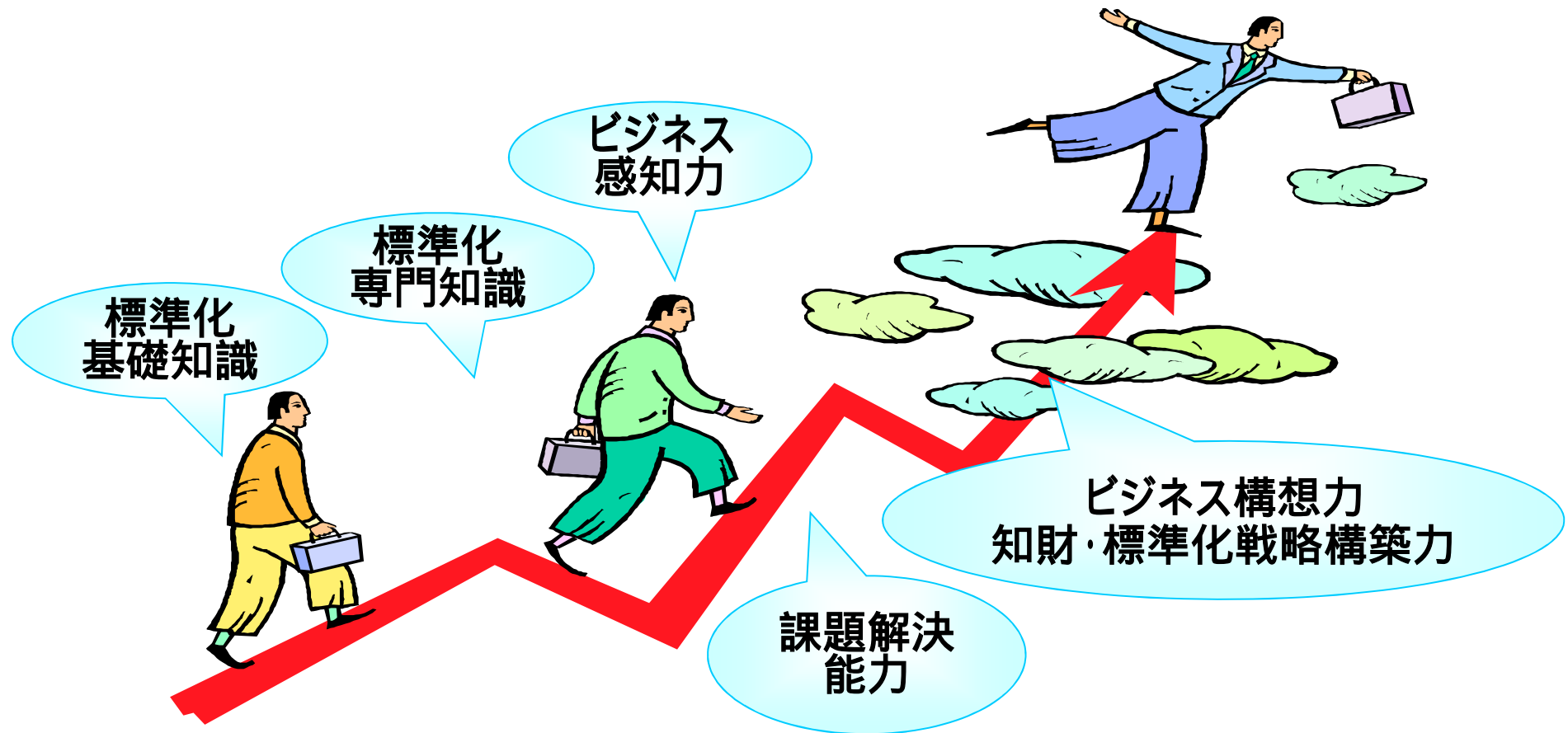
# スタンダード人材育成が目指す人材



# 人材育成への長期的取組の重要性

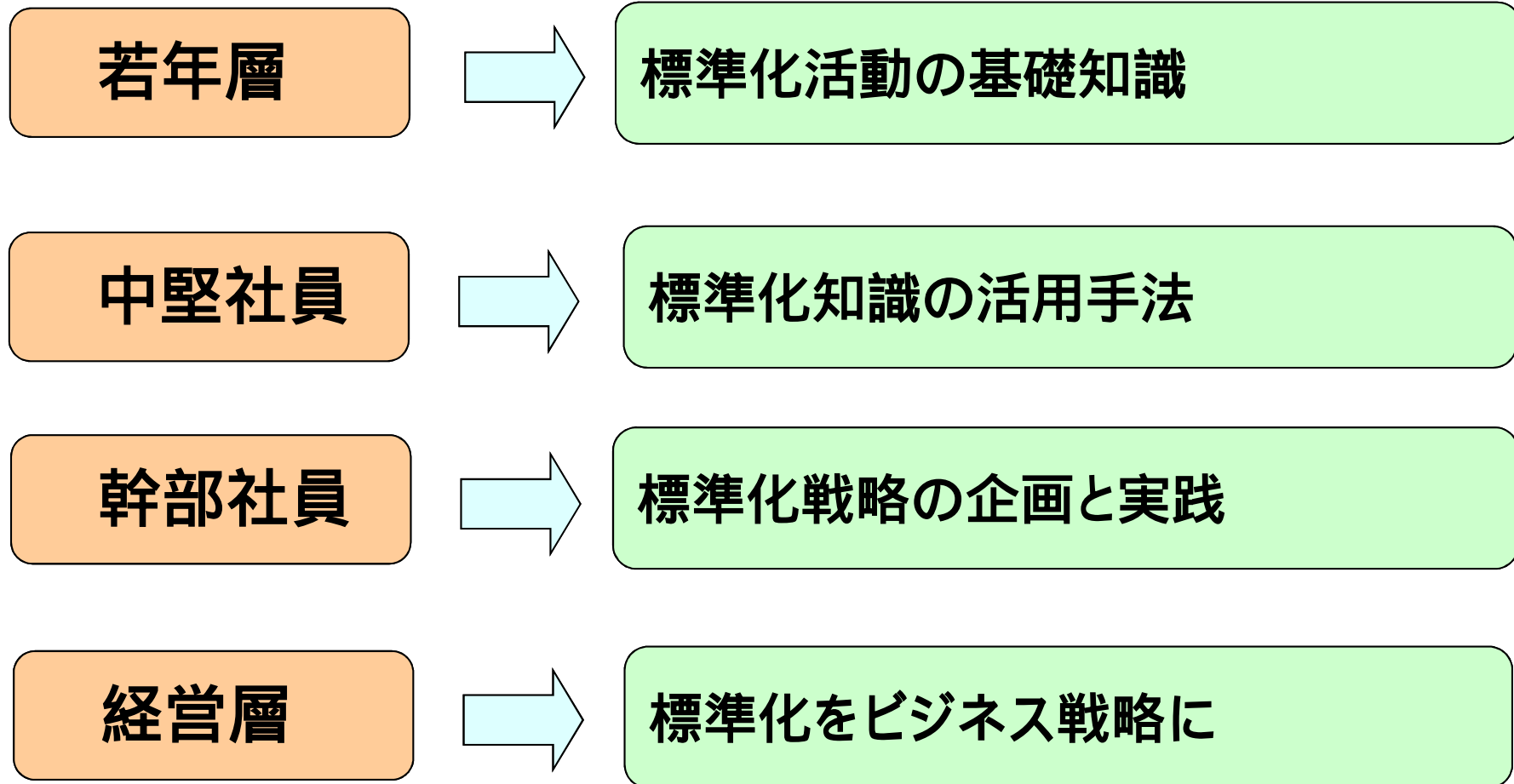
新人～若手

中堅～ベテラン

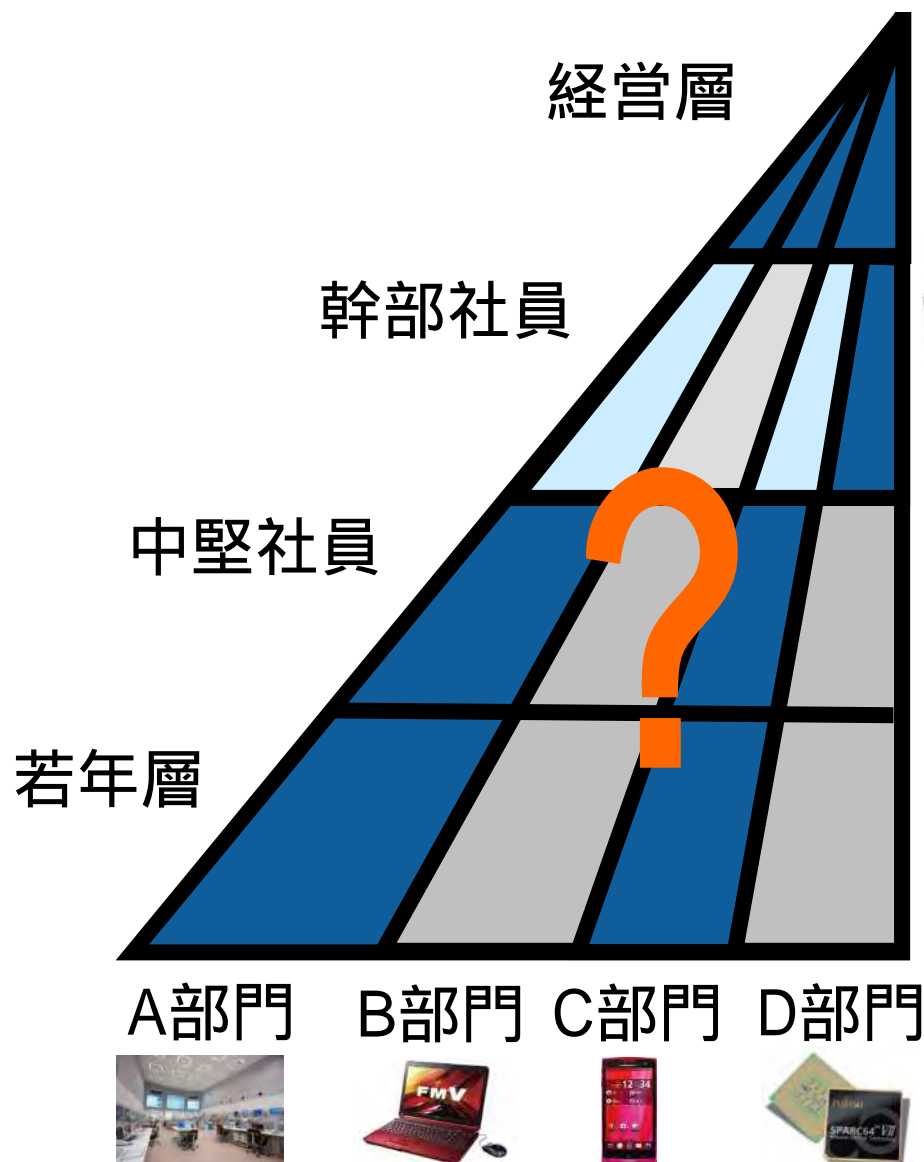




# 階層別に異なる教育ニーズ



# 事業部門ごとに異なる教育ニーズ



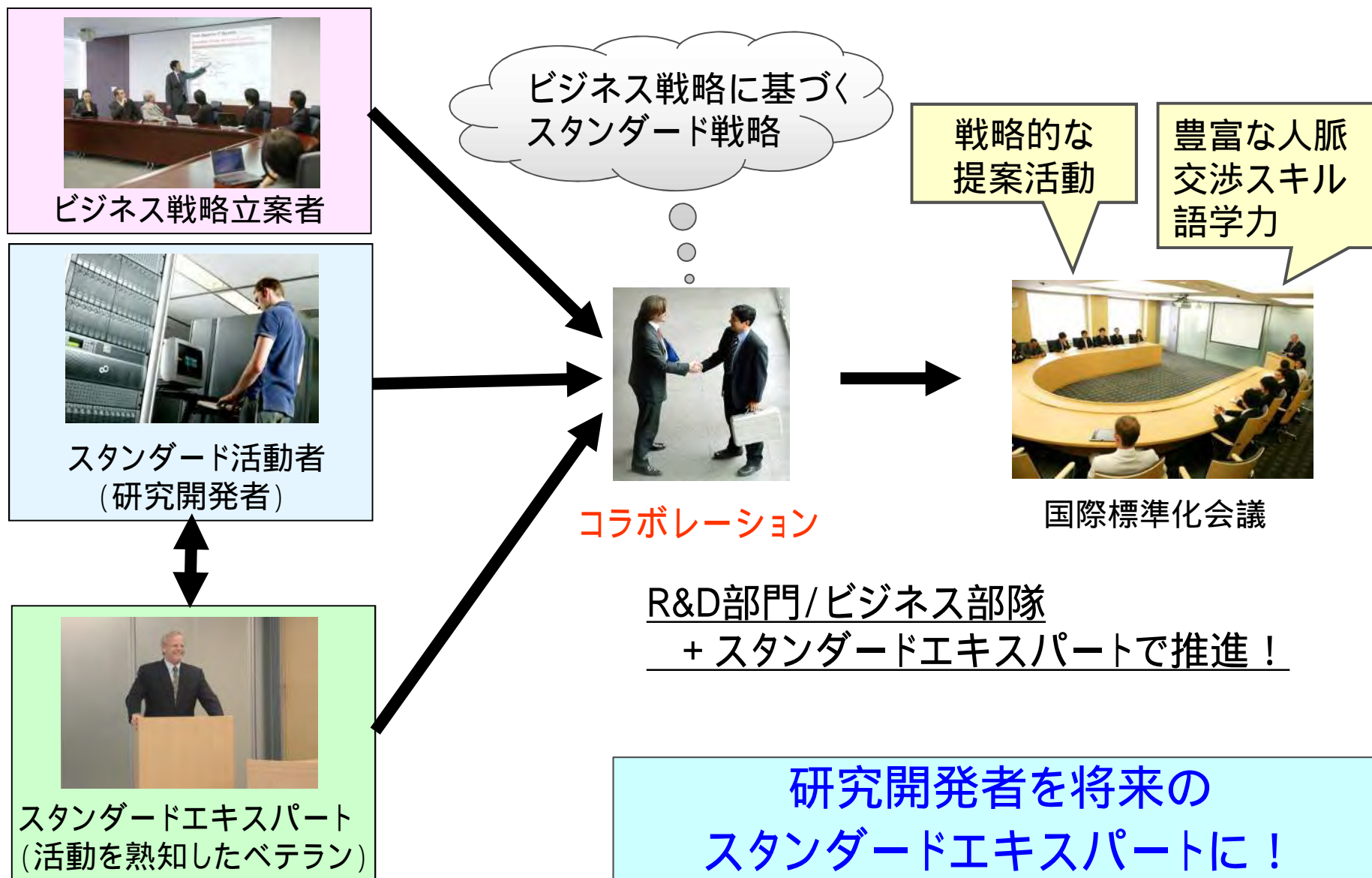
- 標準化人材育成のニーズが事業部門ごとに異なる。
- どの階層に注力すべきか？
- どの程度の教育をすればよいか？

- 新規事業をスタートしたが、社内には関連する標準化の知識や経験が不足。



- 教育費用の負担がかかる。教育効果が分からない。

# 活動者向けOJT(エキスパートとの連携)



下記プログラムを社内アナウンスし、受講を推奨

## ■ 日本規格協会

(階層別標準化研修セミナー)

- 経営者・マネージャのための“経営に役立つ”標準化研修
- 営業マン・新人のための“仕事に役立つ”標準化基礎研修

## ■ 日本ITU協会

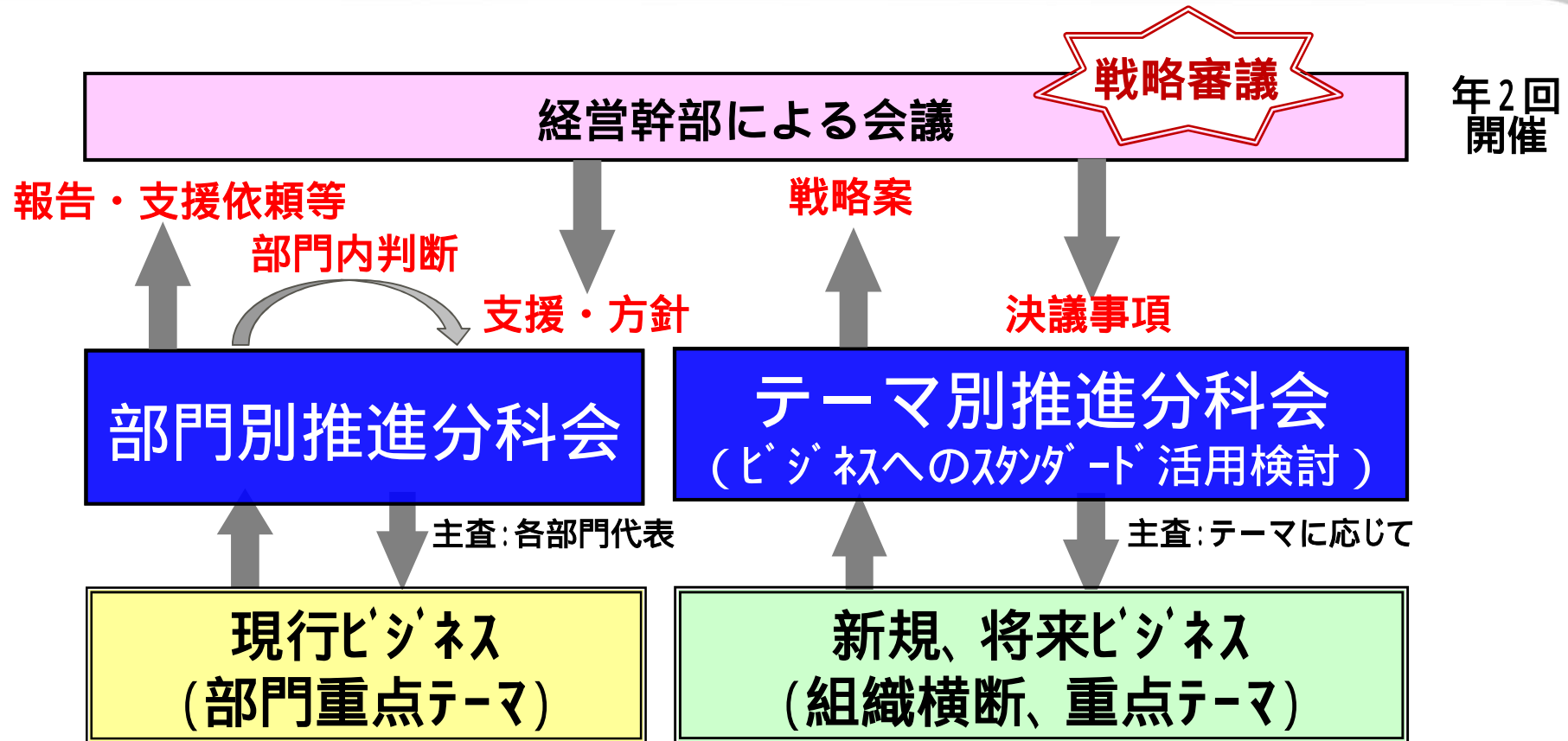
■ 国際会議体験セミナー

(H27年度：国際交渉パフォーマンスセミナー)

## ■ 日本知的財産協会(JIPA)

- 知的財産権と企業経営
- 知財変革リーダー育成研修
- 標準と知財のビジネス活用 (2015年度から)

# 戦略審議による経営層の啓発



## 部門推進活動

各部門の活動、部門間連携も含めて推進(見える化/重点テーマ)

## テーマ別推進活動

マーケティング部門、関連部門と共に初期段階から組み込み

# インターンシップ生の受け入れ (H22年度～)



- 全社プログラムの活用 (全社Webサイトにて募集)
- 対象: 大学(院)生、高等専門学校生
- 人数: 1～3名/期 (マッチング面談にて選抜)
- 時期: 7月～9月(主に夏休み期間)
- 期間: 3週間/期 × 3期/年
- 活動: 教育受講、実習、社外会議傍聴(METI、MIC、JISC、他)
- 実習内容(例)
  - 企業の標準化活動動向分析(標準化戦略の理解)
  - 標準化活動の審議経過整理(標準化プロセスの理解)
  - 各団体のパテントポリシー改訂状況調査(知財活用の理解)

企業側にもメリット有; 優秀な学生が当社に興味

活動の励み  
になったわ

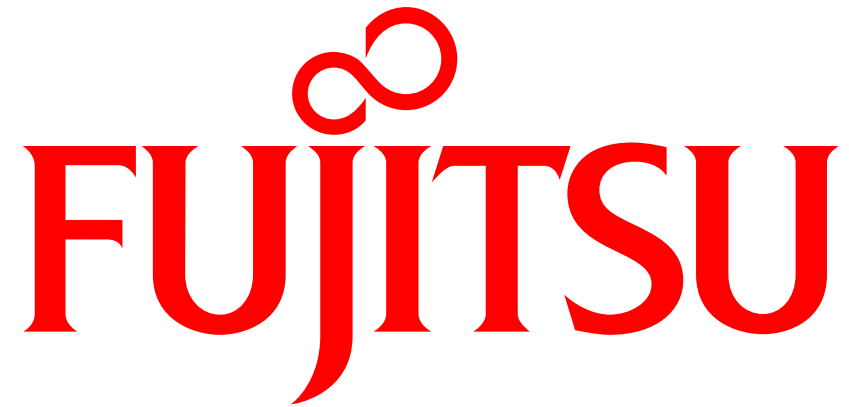
## ■ 目的

- 1) 社内スタンダード活動のプレゼンス向上
- 2) スタンダード活動者のモチベーション向上

## ■ 概要

- 年一回、スタンダード推進委員会にて
- 功績賞、推進賞
- 委員長(CTO)より表彰状、賞金目録授与
- 対象者：富士通グループ会社所属の個人、またはグループ
- 選考基準：ビジネス貢献、草の根活動(日の当たらない人)
- 平成22年度より





shaping tomorrow with you